


 日本生殖看護学会ニュースレター

Japanese Society of Fertility Nursing (JSFN)


 No.54

 ● ● ● 目 次 ● ● ●

・第17回日本生殖看護学会学術集会	1
・令和元年 日本生殖看護学会 総会報告	2
・2019年度 収支予算書	3
・学会誌への投稿のお願い	4
・これから行われる学術集会・研修会情報(2019年11月～2020年2月)	5
・認定看護師教育課程「生殖看護」開講に関するニーズ調査結果	6
・第14回生殖看護実践セミナー報告	6
・理事会報告	8



第17回日本生殖看護学会学術集会

「躍進する生殖看護

-不妊治療からその先の妊娠・出産・育児へ-」

学術集会長 坂上明子 (武蔵野大学)

年号が令和に変わって初めての学術集会を、9月15日(日)に聖路加国際大学で開催致しました。この夏、全国各地で台風による深刻な水害等があり、学術集会の1週間前には千葉県を台風が直撃し、ライフラインや公共交通機関もなかなか復旧しない状況でした。そのような状況の中、全国から463名(会員162名、非会員274名、学生27名)という非常に多くの皆様がお集まりくださいました。被災地の皆様にご配慮いただきありがとうございます。被災地の皆様にご配慮いただきありがとうございます。

本学術集会のテーマは、「躍進する生殖看護-不妊治療からその先の妊娠・出産・育児へ-」としました。不妊治療後に生まれてくる子ども/生まれてきた子どもと家族の幸せ、福祉、人権、その後のリプロダクティブヘルスを守るためには、それぞれのニーズに応じた手厚い継続的支援が不可欠であると考え、このテーマとしました。

教育講演は、千葉大学大学院看護学研究科の森恵美氏に「超高齢出産・育児を多職種で支える」、シンポジウムは、「不妊治療後の妊娠・出産・育児を支える」と題して、白井千晶氏(静岡大学人文社会科学部)、長瀬彩子氏(聖路加国際病院 ソーシャルワーカー)、勝又由美氏(東邦大学医療センター佐倉病院 不妊症看護認定看護師)、福井良子氏(NPO法人Fine 公認ピア・カウンセラー)に、それぞれの立場からご発言いただきました。ランチョンセミナーでは、「生殖医療の最前線」として、名古屋市立大学大学院医学研究科の尾崎康彦氏から、「こころとからだに寄りそう不育症治療とケア」、慶應義塾大学医学部の木須伊織氏に、「子宮移植の現在と未来」についてご講演いただきました(共催:ウイメンズヘルス・ジャパン株式会社)。一般演題

では口演6題、ポスター5題の計11演題のご発表があり、前原邦江氏（千葉大学大学院看護学研究科）及び稲川早苗氏（東京慈恵会科大学附属病院）の2題が優秀賞に選ばれました。各会場では、熱気に満ちた活発な意見交換が行われ、参加者アンケートでは、「最新の生殖医療・看護が学べた」、「不妊治療を受けて出産した母親の現状・ニーズを知ることができた」、「多職種連携の方法が理解できた」等のご感想をいただきました。また、ほぼすべての皆様が参加の目的を「達成できた」または「だいたい達成できた」とご記入くださっていたことから、ご参加くださった皆様にとって有意義な学術集会にできたのではないかと考えております。

事前参加登録では振込用紙が使用できなかったり、当日は予想以上に多くの皆様にご参加いただき、プログラム・講演集が不足したり、会場が一時立ち見の状態になってしまう等、ご迷惑をおかけしました。この場をお借りしましてお詫び申し上げます。

最後になりましたが、本学術集会の準備・運営に向けて、きめ細やかなご配慮、ご協力、ご支援くださいましたすべての皆様に、こころより感謝申し上げます。

第17回日本生殖看護学会学術集会 優秀賞を受賞して

千葉大学大学院看護学研究科 前原邦江

この演題は、筆者らの研究班が十年来取り組んできた研究の一部です。高度生殖補助医療（ART）を受けた妊婦の不妊・治療経験の想起・統合を促す看護介入を実践した事例から、具体的な展開方法を示すことを目指しました。本プログラムを臨床現場で実践してくださった協力施設の看護職者の皆様のご尽力の賜物であり、素晴らしい看護実践の知を見出すことができたことを嬉しく思います。また、本学術集会では不妊・治療経験のレビューの重要性を再認識しました。この成果を生殖看護に携わる皆様と共有し、発展させていきたいと思っております。

第17回日本生殖看護学会学術集会 優秀賞を受賞して

東京慈恵会医科大学附属病院 稲川早苗

この度は、優秀賞に選出していただき誠にありがとうございました。

私の発表した演題は、共有意思決定（Shared Decision Making：SDM）の実践をまとめたものです。

がん・生殖医療におけるSDMについては文献が少なく、日頃行なっている看護が正しいのだろうかと思ってしまうことも多くあります。今回の受賞が力となり、一歩前に進むことができた思いです。

がん・生殖医療においては、必ずしなければならない医療ではなく、患者が何を大切に何を望むかによって選択が変わります。思いに寄り添い、“その人らしい”意思決定ができるよう今後も支援を続けていきたいと思っております。

令和元年 日本生殖看護学会 総会報告

日 時：令和元年9月15日（日）13：50～14：20
会 場：聖路加国際大学（アリスC.セントジョン メモリアルホール）
出席者：会場出席者67名、委任状151通（本学会則18条 学会員371名の10分の1以上の出席確認により総会成立）
議 長：坂上明子氏（第17回学術集会長）

【報告事項】

1. 理事会報告（上澤理事長）
平成30年度に開催された4回の理事会および3回の臨時理事会の報告・審議事項の概要
2. 総務（事務局）報告（森理事）

令和元年8月7日現在、会員数371名
会員管理、関連団体・機関への対応、学会ホームページの運営と管理を行った。

3. 事業報告（平成30年9月1日～令和元年8月31日）

- 1) 将来構想の検討報告（上澤理事長）
検討事項として4つの短期目標を挙げ研究、検討に取り組んだ。
- 2) 常任委員会
(1) 実践開発委員会（村上理事）
NPO法人Fine主催「Fine祭り2018」に不妊相談員として、東京都主催「不妊治療と仕事との両立に関する

研修」にパネラーとして本学会員の不妊症看護認定看護師を派遣した。

不妊症看護認定看護師メーリングリストを運営した。

(2) 教育推進委員会 (柴田理事)

関西地区の勉強会実施支援、第13回生殖看護実践セミナー (台風により延期)、第14回生殖看護実践セミナーの企画・運営を行った。

各地区勉強会の支援および助成のお知らせをHP・NLに掲載、関西地区勉強会に助成金を交付した。

(3) 広報委員会 (實崎理事)

NL51~53号を企画・編集および発行し、関連学会・関連省庁を含めて380部発送した。

1年経過したNLをHPに掲載した。

学会案内リーフレットの配布によりPR活動を行った。

(4) 編集委員会 (崎山理事、坂上理事)

学会誌第16巻第1号を編集し発行した。

学会誌の電子化および学会誌作成の業者委託について検討した。

(5) 将来検討委員会 (野澤副理事長)

国内外の情報収集と発信、研究助成の運営・管理を行った。研究助成応募期間を延長、助成金を倍増したが、応募数0件であった。

会員の研究促進活動の実施には至らなかった。

3) 特別委員会

(1) 看保連対応ワーキング (森理事)

看保連社員総会、診療・介護報酬あり方検討委員会、三保連シンポジウム等の会議・研修会に参加し、最新の動向を入手した。

医系関連他学会との情報交換を行い、2020年度診療報酬改定に向け、「不妊治療指導管理料 (仮) (新設) 要望書を提出した。エビデンスとなる調査を継続中、改定時には論文化予定である。

(2) 健やか親子21 (第2次) ワーキング (野澤副理事長)

健やか親子21推進協議会第4ワーキンググループ委員会に参加し、HPVワクチンのリーフレット作成等の役割を遂行した。

4. 平成30年研究助成審査結果 (上澤理事長)

研究助成申請者なし

5. 第18回学術集会について (上澤理事長)

第18回学術集会の大会長推薦者を報告した。

* 報告事項に関し、会場出席者の拍手にて承認された。

【審議事項】

1. 平成30年度収支決算ならびに会計監査 (清水理事、中村理事、村本監事、森監事)

清水理事より平成30年度の一般会計及び特別会計の収支決算 (案) を報告した。

森監事より平成30年度収支決算に関して、監査を執行した結果、適切であったことを報告した。

* 報告事項に関し会場出席者の挙手多数により承認された。

2. 令和元年度事業計画案 (上澤理事長)

1) 学会の将来構想の検討：将来構想をふまえた短期目標2点を提示

短期目標1：生殖看護を定義し概念化し、生殖看護のコンピテンシーを明確にする

短期目標2：学会活動を見直し、会員の満足が高まるような活動充実をはかる

2) 総務 (事務局)

個人情報保護法に基づいた会員管理とHPの運営・管理の実施

関連団体・機関への会議出席や学会としての意見提出の実施と拡大

理事・監事選挙管理に関連する事務連絡

3) 常任委員会

(1) 実践開発委員会

相談員派遣業務、CNメーリングリスト運営による情報配信

(2) 教育推進委員会

生殖看護地区実践セミナーの企画・審査、ポストコース開催に向けた企画・準備

(3) 広報委員会

NLの企画・編集および発行、関連学会等でのPR活動

(4) 編集委員会

投稿原稿の受付・査読依頼・採否決定、専任査読委員の依頼

学会誌の電子化、学会誌作成の業者委託について継続検討

日本生殖看護学会誌第17巻第1号の発行に向けたタイムスケジュール

(5) 将来検討委員会

研究助成関連の運営・管理および活用方法の検討ケアの質向上に向けた、研究促進活動および具体的な取り組み検討

国内外の情報収集と発信

4) 特別委員会

(1) 看保連ワーキンググループ

看保連の総会、臨時総会、委員会等に出席

不妊治療管理指導料の診療報酬点数化に結びつくエビデンス構築の推進

(2) 健やか親子21 (第2次) ワーキング

健やか親子21推進協議会第4グループ委員会に参加し、国民運動における当学会ならではの役割を遂行

* 令和元年度の事業計画案は、会場出席者の挙手多数により承認された。

3. 令和元年度収支予算案 (清水理事)

* 令和元年度の収支予算案が提示され、会場出席者の挙手多数により承認された。

4. 第18回学術集会の告知 (奥島美香氏 次年度学術集会長)

奥島氏より第18回学術集会の日程と場所、テーマが報告された。

会 長：奥島美香氏 (社会医療法人生長会 府中のぞみクリニック 課長補佐)

日 程：2020 (令和2) 年9月13日 (日)

会 場：ホテルモントレ グラスミア大阪

テーマ：「一人一人の多様な価値観と選択肢への支援」

2019年度 収支予算書

(2019年9月1日から2020年8月31日まで)

日本生殖看護学会

一般会計

収入の部

(単位：円)

大科目	小科目	予算額	備考
会費収入	年会費	2,900,000	360名×8000円 2名×10,000円
繰越金	前年度繰越金	6,314,784	
総収入合計		9,214,784	

支出の部

科目	小科目	予算額	備考
会議費	理事会会議費 総会費	【850,000】	
		800,000	
		50,000	往復はがき代
事業費	広報委員会 教育推進委員会 実践開発委員会 編集委員会 将来検討委員会 学術集会補助費	【1,420,000】	
		350,000	ニューズレター発行・リーフレット印刷
		230,000	地区セミナー開催・ポストコース開催
		70,000	Fine 祭り相談員の派遣
		420,000	学会誌発行
		50,000	研究促進研修会
		300,000	第18回学術集会補助費
事務費	人件費 通信費 消耗品費	【500,000】	
		350,000	アルバイト(PC入力・HP管理)
		60,000	
		90,000	
団体登録料	日本看護系学会協議会 看護系学会等社会保険連合 日本カウンセリング学会	【160,000】	
		80,000	
		70,000	
		10,000	
活動費	ワーキンググループ活動	【200,000】	
		200,000	看保連・すこやか親子21 生殖看護コンピテンシーモデルの創生
支出合計		3,130,000	
予備費等		6,084,784	
総支出合計		9,214,784	

特別会計：研究助成金積立金

(単位：円)

小科目	予算額	備考
2019年度積立金	0	
2019年度助成金	0	助成金なし
前年度までの積立金	938,120	
合計(A)	938,120	

研究論文を学会誌に投稿してみませんか？

本学会誌は日本で唯一の生殖看護に関する専門誌です。原著論文や報告などのいくつかの投稿種類を兼ね備えています。

ご自分の論文を仲間と共有し、また、ご協力いただいた研究協力者の方に還元する機会として、ぜひご投稿ください。生殖看護がより根拠に基づくものとなり、また、看護が対象に与える効果を社会に示すためにも、多くの方の投稿をお待ちしております。

学会誌第17巻第1号の投稿締め切りは、2019年11月22日(金)必着です。詳細については、学会HPに掲載する「論文投稿規定」をご確認ください。

これから行われる学術集会・研修会情報 (2019年11月～2020年2月)

月	日	学会・研修会名	会場	学会 HP / 運営事務局
11月	2日 ～ 3日	日本女性医学学会学術集会 (第34回) 「女性の一生を診る」	ヒルトン福岡 シーホーク (福岡県福岡市)	http://jmwh34.umin.jp/about.html 運営事務局 (株) MA コンベンションコンサルティング内 〒102-0083 東京都千代田区麹町4-7 麹町 パークサイドビル402 TEL : 03-5275-1191 (代表) FAX : 03-5275-1192 E-mail : jmwh34@macc.jp
	7日 ～ 8日	日本生殖医学会学術講演会 (第64回) 「世界に発信する個別化生殖医療」	神戸国際会議場 (兵庫県神戸市)	http://www.congre.co.jp/jsrm64/overview.html 第64回日本生殖医学会学術講演会・総会 運営事務局 株式会社コングレ 〒102-8481 東京都千代田区麹町5-1 弘済会館ビル6階 TEL : 03-5216-5318 FAX : 03-5216-5552 E-mail : jsrm2019@congre.co.jp
	7日	生殖医療コーディネーター研修会	神戸国際会議場 5階 501 (兵庫県神戸市)	http://www.congre.co.jp/jsrm64/files/jsrm2019_seminar.pdf
	14日 ～ 16日	国際妊孕性温存学会 : ISFP (第6回)	ニューヨーク (米国)	https://www.isfp2019.cme-congresses.com/
	30日 ～ 12月1日	日本看護科学学会学術集会 (第39回) 「ヒトと人間 (ひと) の科学を看護へ ～時空を超える我々を知り、 看護学を別次元へ発展させよう～」	石川県立音楽堂 (石川県金沢市) ANA クラウンプラ ザホテル金沢 (石川県金沢市) ホテル金沢 (石川県金沢市) もてなしドーム地下広場 (石川県金沢市)	http://www.jans2019.jp/outline/ 株式会社ネクステージ 〒920-0059 石川県金沢市示野町南45番地 TEL : 076-216-7000 FAX : 076-216-7100 E-mail : jans39@nex-tage.com
2月	15日 ～ 16日	日本がん・生殖医療学会学術集会 (第10回) 「がん・生殖医療の量的・質的均てん化を 目指して」	ソニックシティ (埼玉県さいたま市)	http://www.j-sfp.org/entry/dl/sympo_program_200215-16_front.pdf 【運営事務局】 株式会社ヒューマン リプロ・K 〒226-0003 横浜市緑区鴨居6丁目19 20 TEL : 045-620-7560
	15日	日本生殖心理学会学術集会 (第17回) 「家族のカタチ」	城山ホテル鹿児島 (鹿児島県鹿児島市)	https://www.jsrp.org/report/documents/conf17_program.pdf

認定看護師教育課程「生殖看護」開講に関するニーズ調査結果

日本生殖看護学会理事長 上澤悦子

現在、「不妊症看護」認定看護師教育課程は中断されていますが、「不妊症看護」に留まらない人々の性と生殖における健康課題をさらに広く支援できるよう新たなB課程認定看護師教育課程「生殖看護(Reproductive Health Care)」と名称変更し、日本看護協会では教育基準カリキュラムの作成に取り組んでおります。しかし、本課程は、いずれの地域に開講するにしても入学定員を確保できるかが大きな課題です。

そこで、第17回学術集会の参加者を主な対象者として、理事会の承認を得て、認定看護師教育課程「生殖看護」開講に関するニーズ調査を実施しました。ご協力を頂きました会員の皆様にご挨拶申し上げます。

結果：紙調査と Web 調査を合わせて160件の有効回答を得ました。

Q 1. あなたは「生殖看護」教育課程が開講したら受講したいか。

受講したい：88 (55%)、受講したくない：22 (14%)、既にCN受講済み：50 (31%)

Q 2. あなたはスタッフや同僚に受講を勧めるか。

受講を勧めたい：132 (83%)、勧めない：28 (17%)

Q 3. 開講するのに望ましいと考える地域 (2か所選択)

関東：137、関西：110、九州・中国：19、東北・北海道：14、東海：6、北陸：5、四国：2

Q 4. 主な開講方法 (重複回答可)

e-learning：106、主に週末開講：86、主に平日開講：45

Q 5. あなたの職種と認定資格 (重複回答可)

看護師以外に助産師：85 (内アドバンス助産師：33)、保健師：19、CN：56、CNS：2、その他の生殖医療関連資格：42。

自由回答：26件あり、開講方法や受講支援制度への希望：12件、開講を強く望む意見：5件、診療報酬に係る制度への希望：2件、特定行為との関連を知りたい：2件。

以上の結果から、「生殖看護」開講ニーズはあるものの、開講方法の工夫や受講支援制度の充実を望んでいました。特定行為研修を含むB課程認定看護師教育「生殖看護」について知りたいとの意見もありましたが、特定行為を含む新カリキュラムは、今後、日本看護協会 HP でパブリックコメント募集がありますので、活発なご意見をお願いいたします。

また、認定看護師制度改正や特定行為研修についてもっと知りたい方は、以下の URL にアクセスください。
<https://nintei.nurse.or.jp/nursing/qualification/kaiseinituite>

第14回生殖看護実践セミナー報告

報告：教育推進委員会

テーマ：不妊治療に求められるヘルスリテラシー

日時：2019年9月14日(土) 14時~17時

場所：東京工科大学 3号館17階多目的実習室

参加者：59名(会員42名 非会員17名)

講師：太田寛先生(アルテミスウィメンズホスピタル/ウィメンズヘルスリテラシー協会理事)

1. セミナー内容

ヘルスリテラシーの概要説明の後、グループワークで事例の状況をヘルスリテラシーの枠組みで分析した。その後、太田先生より、科学的根拠に基づく情報提供、患者の選択にかかわる価値観を読み解いた講演があった。最後に時間の都合で一部のグループであったが、検討の結果を発表し、学びの共有をした。

2. アンケート評価 (アンケート回収数：55部 回収率：93.2%)

講演は92.8%の参加者が「とても役にたった」「役にたった」と回答した。

事例検討は92.7%の参加者が「とても役にたった」「役にたった」と回答した。

講義では、「情報提供する上で、患者のニーズをとらえ、EBMとNBMをバランスよく提供することにより患者が納得できる意思決定ができる支援が大切である」「正しいことが、相手の納得できることとは限らない、ということが学べてよかった。明日からの患者対応につなげることができると思った」等の意見があった。事例検討では、「実際のケアやカンファレンスに生かせる」「ヘルスリテラシーを理解できた」「様々な視点を学ぶことができた」等の意見があった。一方、看護のヘルスリテラシーについて医師が講義することの違和感やヘルスリテラシーの分類が難しかったという意見もあった。

教育推進委員会からのお知らせ

【方針の変更】

総会の議を経て、今年度からのセミナーおよび勉強会が変更になります。

1. 不妊症看護認定看護師のポストコースを学会で実施します。参加者には学会としての受講証明書を発行します。
2. これまで地区で行われていた勉強会は、新たに「生殖看護地区実践セミナー」として実施を予定しています。19年度は実績のある関東地区、関西地区、西日本地区での開催を計画していく予定です。これにより、参加者には学会としての受講証明書を発行します。(認定更新のポイントになります) 上記以外の地域で、開催を計画された場合、教育推進委員会にご相談ください。
3. 各地域で実施されていた勉強会は、個人で開催することは構いませんが、助成金はありません。勉強会という名称で開催をすることはできますが、学会の受講証明書は発行しません。

【各コースの内容】

《ポストコース》

1. 対象は不妊症看護認定看護師になります。
2. 開催場所、日時は原則として、学術集会前日に学術集会が開催される近隣の場所になります。
3. 参加費が必要です。参加費については開催の必要経費で決まります。
4. 内容は、不妊症看護関連に特化した内容になります。

《生殖看護地区実践セミナー》

1. 対象は医療職及び一般になります。企画者の意向により職種を限定する場合があります。
2. 開催場所・日時は各地域の企画者によって決定します。
3. 参加費は各地区の企画者によって決定します。企画案により、学会から最大7万円の補助が出来ます。補助金の使用用途の範囲は、会場費(設備費を含む)、講師費、資料代、スタッフ交通費等です。
4. 内容は不妊症看護を中心にウィメンズヘルスを含む広い範囲になります。

《勉強会》

1. 対象は企画者の任意により決定します。
2. 開催場所・日時は企画者によって決定します。
3. 参加費は企画者によって決定します。
4. 内容は企画者によって決定します。

ウィメンズヘルス(不妊を含む)に関係する内容の場合は、学会ホームページ、ニュースレターに掲載することもできます。

【学会ホームページおよびニュースレターへの掲載】

日本生殖看護学会のニュースレターやホームページにも広報を掲載することが出来ます。

開催日時、開催場所、テーマあるいは内容、連絡先(住所、電話番号、FAX番号、メールアドレス)等を下記の連絡先までご連絡下さい。また、日本生殖看護学会ホームページには、勉強会の企画に関する資料が掲載されていますので参考にして下さい。

【連絡先】 日本生殖看護学会教育推進委員会 担当理事 柴田文子

〒243-0124 神奈川県厚木市森の里若宮9-1

森の里学園研究施設内 松蔭大学看護学部

TEL: 046-247-1511 (代表) FAX: 046-247-4234

E-mail: jsfn.edu@gmail.com

理事会報告

第3回臨時（書面）理事会

日時：2019（令和1）年7月2日（火）
場所：書面による。

【審議事項】

1. 入会審査：8名の入会を承認、2名の入会は審議を継続

第3回理事会

日時：2019（令和1）年8月10日（金）14時～17時
場所：聖路加国際大学本館5階506

出席者：上澤、野澤、森明、實崎、村上、坂上（学術集会長兼務）、崎山、清水、中村、村本、朝澤（書記）

【報告事項】

1. 第17回日本生殖看護学会学術集会準備進捗状況
2. 理事長：日本看護系学会協議会社員総会について
3. 広報委員会：広報委員会活動計画およびNL発行計画
4. 教育推進委員会：第14回生殖看護実践セミナーについて
5. 実践開発委員会：Fine 祭り2018の相談員派遣、東京都の事業イベントパネラー派遣について
6. 編集委員会：学会誌 第16巻発刊の報告
7. 将来検討委員会：2019年度研究助成の申請について
8. 総務：会員管理、ホームページ管理、学会年会費管理等について
9. 会計：平成30年度収支決算および令和元年度予算案
10. 監事：
11. 看保連対応 WG：2021年度介護報酬改定に向けた要望について
12. 健やか親子21推進協議会 WG：HPV ワクチンに関するリーフレットへの学会名称掲載について
13. その他：
 - (1) CLoCMIP レベルⅢ認証の新規申請承認対象学術集会としてのエントリーについて
 - (2) 生殖看護コンピテンシー科研の進捗状況
 - (3) 第18回日本生殖看護学会学術集会長は府中のぞみクリニックの奥島美香氏に決定

【審議事項】

1. 入会再審査：保留2名の入会を承認
2. 入会審査：1名の入会を承認
3. 2020年4月以降の事務局の場所：決定保留
4. 令和元年 総会要綱の修正とメール添付の依頼
5. 各学会の会員種類と学会発表者の条件：本学会の申し合わせ事項を確認
6. 平成30年度収支決算および令和元年度予算案を承認
7. COI 申告の規定：論文投稿規定の修正を継続審議

第4回理事会

日時：2019（令和1）年9月14日（土）
18時10分～20時

場所：聖路加国際大学本館5階506

出席者：上澤、野澤、森明、柴田、實崎、村上、坂上（学術集会長兼務）、清水、中村、森恵、村本、中村真（書記）

【報告事項】

1. 第17回日本生殖看護学会学術集会準備進捗状況
2. 教育推進委員会：第14回生殖看護実践セミナーについて
3. 実践開発委員会：Fine 祭り2019の相談員派遣について
4. 編集委員会：令和元年度専任査読委員登録の依頼について

【審議事項】

1. 教育推進委員会：今後のポストコース、実践セミナーの計画を承認
2. 編集委員会：日本生殖看護学会における論文投稿規定の変更と利益相反申告書の追加を承認
3. 理事長：日本生殖看護学会理事・監事の任期制に関する提案
4. 入会審査：7名の入会と29名の退会を承認
5. 平成30年度収支決算書（案）、令和元年度収支予算書（案）の修正を最終承認
6. 令和元年 総会要綱（案）の加筆修正を承認
7. 令和元年 総会進行（案）を承認
8. 生殖看護認定看護師コース開設に関するニーズ調査実施を承認
9. 日本生殖看護学会事務局の移転・体制についての検討

事務局からのお知らせ

1. 第18回学術集会、編集委員会への問合せは、それぞれの事務局に直接お願いいたします。
2. 日本生殖看護学会への問い合わせ、会員に伝えたい情報、HP、ニュースレターに関するご意見・ご希望等ありましたら、E-mail もしくは Fax で、気軽にご連絡ください。
3. 学会の年会費は8,000円です。会費納入は事業運用上、できるだけお早めをお願い申し上げます。当会から送付した払込取扱票を無くされた方は、下記の口座番号と加入者名を、郵便局備付の払込取扱票にご記入の上、納入してください。
4. 異動・転居された方は必ず事務局までお知らせください。宛先不明ですと、ニュースレター、学会誌をお届けすることができませんので、ご協力お願い申し上げます。
5. 会員数371名（令和元年8月7日現在）です。学会の活性化を一層はかるため、生殖看護に関心のある、お知り合いの方にぜひ入会をお誘いください。入会案内および入会申込書は学会ホームページからダウンロードできます。

日本生殖看護学会

Japanese Society of Fertility Nursing : JSFN

〒104-0044 東京都中央区明石町10-1

聖路加国際大学内

TEL & FAX 03-5550-2293 E-mail : jsin@slcn.ac.jp

ホームページ <http://jsin.umin.jp>

口座番号：00170-2-333414

加入者名：日本生殖看護学会

●次号の原稿締切日

ニュースレター第55号の原稿締切日は、2020年1月20日（月）を予定しています。

会員の皆さまにお知らせしたい情報などがございましたら、広報委員会（jsfn.koho@gmail.com）までご連絡ください。

◆編集後記

今年の学術集会はとても盛況で、実り多い会でした！会場の大学名も駅から大学までの風景も変わってきていることに時の流れを感じ、寂しさを覚えた1日でもありました。移ろう環境にとり残されないよう、皆様とともに精進していければと思います。